

A T O M 梅 島

だより

令和6年10月

進学個別 ATOM 梅島教室

TEL 03(3852)2080

FAX 03(5888)6110

E-mail: umejima@tokyogakuseikai.co.jp



御兄弟・御姉妹

入会キャンペーン実施中！

※特典がございます。ご遠慮なくご相談ください！

私立中高生の皆さん！

10月は中間テストを迎えます！

今までの自分よりも少しでも成長すべく頑張りましょう！

R6年5月～7月に実施された定期テストで高得点獲得または点数UPしたATOM生を一部掲載！

本郷中 Sくん 86点 理科Ⅱ 頑張りました！	本郷中 Sくん 20点UP 国語A 頑張りました！	都立江北高 Iさん 84点 生物 頑張りました！	都立江北高 Iさん 82点 公共 頑張りました！	都立江北高 Iさん 34点UP 代数分野 頑張りました！	都立農産高 Tくん 91点 化学基礎 頑張りました！
足立学園高 Kくん 84点 数Ⅱ 頑張りました！	郁文館高 Wくん 84点 理科 頑張りました！	成城中 Yくん 95点 英語 頑張りました！	成城中 Yくん 30点UP 国語 頑張りました！	成城中 Yくん 30点UP 社会 頑張りました！	足立第九中 Kさん 91点 英語 頑張りました！
足立第四中 Aさん 26点UP 英語 頑張りました！	足立第四中 Aさん 21点UP 国語 頑張りました！	六月中 Kくん 38点UP 英語 頑張りました！	足立第四中 Tさん 87点 数学 頑張りました！	足立第四中 Tさん 97点 英語 頑張りました！	足立第四中 Aさん 86点 社会 頑張りました！
足立第九中 Yくん 24点UP 数学 頑張りました！	足立第四中 Sさん 44点UP 国語 頑張りました！	足立第四中 Sさん 21点UP 理科 頑張りました！	足立第四中 Sさん 90点 社会 頑張りました！	足立第四中 Sさん 23点UP 社会 頑張りました！	足立第九中 Yくん 89点 社会 頑張りました！

クローズアップ！

●英検二次試験合格おめでとう！

・足立第九中2年 Yくん、足立第九中2年 Kさん。お二人とも英検対策講座と面接対策講座を受講してしっかり学習してくれました！

★コンテストのご案内★

10月12日実施の「地理歴史コンテスト」の優秀者は次回11月号にて発表します。今後の実施予定は以下のとおりです。

★12月14日土曜：漢字・英単語コンテスト

★1月11日土曜：ことわざ・漢字知識コンテスト

どんどんチャレンジしてください！

～Information～

★【進研V模擬について】

公立新中3生の生徒さんは、8/25日曜から毎週のように会場テストが行われております。継続は力なり。月に最低1回は受けてください。足立四中3年Sさんのように、しっかり復習しよう、という意識が出始めている生徒さんもいます。皆も続けましょう！

★【首都圏模試について】

9月アタマの合判模試では、梅島小5Iさんが2度目の単科偏差値60超えを記録！素晴らしいですね。ただし、あくまで各人の目標や現況に対してどれだけ伸びたかが大事。各々の目指すところへ向けて少しでもあがるように頑張りましょう。

★【公立中3生受験対策について】

定期テストオーラスは目の前！内申点確保の為に頑張りぬきましょう！それが終われば本番対策も強化され始めますが、出来始めたら楽しくなるものです。焦らず今の自身を超えてゆきましょう！

★【三者面談・入試ガイダンスについて】

10月第3週より、三者面談を開始しております。受験生は当然ながら、現中2生・小5生にも入試を意識してもらえそうな面談にしたいと思っております。目標やゴールが見つかったり安定したりすると気持ちが入り、好結果に結び付き易いものです。高2生については、既に夏期講習前の面談で進路を意識してもらっていますので、その後の進捗についてお話しさせて戴きます。

★【重政教室長との土曜日無料勉強会（原則毎週実施・予約制・時間応相談）】

※内容は個別にご相談に応じますのでお気軽にお申し出ください。

※例）宿題の解らないところを教えて欲しい（梅島小5年Nくん）



本コーナーは一旦休載となります。今回は最近当方が読んだ本の中から2冊、ご紹介させていただきます。

① 「それでも人生にイエスという V・E・フランクル（春秋社）」

② 「あした死ぬ幸福の王子 飲茶（ダイヤモンド社）」

前者は、「夜と霧」で有名な精神科医フランクルの著書で、自身、ナチスのホロコーストを生き抜くという壮絶な体験をされています。彼はこう言います。「私たちが生きる意味があるかを問うのではなく、私たちは人生に問われている存在なのだ」と。言い換えれば「私は人生にまだなにを期待できるか」を問うのではなく、「人生は私になにを期待しているか」を問うべきなのだ。そして「どのような重大な時間が自分を待ち受けているか未だ誰にも判らないのだ」とも。希望と勇気が持てる言葉に奮い立たされます。

後者は、難解なハイデガー哲学をストーリーで学んでゆく形式がとられており、非常に解りやすいので、グイグイと引き込まれます。ネタバレを意識しなければならぬ構成なので多くは語りませんが、オチも素晴らしいと思います。最も痛切に感じたことは、「当方が生徒さんや親御さんを助けているのではなく、助けられているのはこちらであるのかもしれない」ということです。いまこの瞬間を人の為に生きられる有難い仕事だなど。本当に皆さん、有難うございます。

なお、コーナー扉絵は、魔術の帝国を夢見たハプスブルクの幻想皇帝ルドルフ二世の宮廷画家・アルチンボルドの「司書」、背景は国際教養大学の図書館でした。それでは、連載再開の日まで、失礼します。